



札幌市学校体育研究連盟

令和7年10月23日 第216号

編集：編集部 札幌市立元町小学校

発行：事務局 札幌市立澄川南小学校

文責：竹内 淳一（札幌市立中央小学校）

第64回全国学校体育研究大会北海道大会～北九条小会場～

6回にわたる授業検討を経て、いよいよ10月31日(金)に、第64回全国学校体育研究大会北海道大会が行われます。それぞれの先生が、子どもたちの実態をよく捉え、考えに考えを重ねたことを、当日は実践をしてください。そしてその実践を通して、北海道(札幌)が大切にしてきた研究を全道全国の皆さんに発信していくことができます。お忙しい日々をお過ごしかと思いますが、全国大会が成功裏に終わることができるよう、参加したり、エールを送ったりしながら、みんなで盛り上げていきましょう。

【授業者から】



二条小 本間 大介先生

【一次公開 第4学年 保健「体の発育・発達」】

思春期における体の発育・発達は、なりたい未来の自分につながる大切な期間「ゴールデンタイム」であることを理解し、運動、食事、休養・睡眠の内容に着目しながら、よりよい生活について考える「Grow Up Project」として、自己の課題を追究する姿を目指します。

研究の柱① 子供の「～したい」を生む教材づくり

- ・思春期を「成長ゴールデンタイム」と位置付け、「未来の自分」について考えようとする教材化。

研究の柱② 子供が自ら課題を発見し、解決するための手立て

- ・1週間の生活の様子を自己評価し、成長に必要な生活と比較しながら自己の課題を追究する。

研究の柱③ 子供が自分に合った方法で学習できる学習過程の工夫

- ・友達との交流、専門家のアドバイス、資料調べなどで気付いたことをすぐに追記して深める。



緑丘小 齋藤 未来先生

【二次公開 第5学年 ボール運動(ゴール型)】

「ハンドボールを基にしたゲーム」

チーム内でプレーの判断を共有したり、技能の発揮の仕方を工夫したりして、意図的にシュートチャンスを創ろうとする姿を目指します。自己やチームの特徴に応じた作戦(攻め方)を選んだり、考えたりしながら、ゲームの楽しさを味わうことができるように関わっていきます。

研究の柱① 子供の「～したい」を生む教材づくり

- ・ボールや3面の台形型ゴール等の教具、ルールの設定
- ・技術的、戦術的簡易化を施したゲーム

研究の柱② 子供が自ら課題を発見し、解決するための手立て

- ・自チームの特徴について分析できる、シュート数と攻撃回数のゲームデータの提示

研究の柱③ 子供が自分に合った方法で学習できる学習過程の工夫

- ・伸びを感じ、自己選択できるスキルアップタイム
- ・ゲーム映像で動きを振り返る ICT の活用